

# 国立佐世保工業高等専門学校同窓会 会報 2022

## 【会計報告】

## 同窓会への寄付名簿

期間：2020/10/1～2021/9/30

令和3年度 決算報告			令和4年度 予算計画	
<b>収入の部</b>				
<b>【一般会計】</b>				
項目	予算	決算	予算	備考
前年度繰越金	1,139,440	1,139,440	1,609,552	
会費(55回生)	1,530,000	1,530,000	1,530,000	卒業生
入会金(新入生)	510,000	537,000	510,000	新入学生
寄付金	700,000	1,021,000	1,000,000	会員から
預金利息	10	15	18	
会報広告収入	80,000	30,000	50,000	
その他	0	0		
<b>合計</b>	<b>3,959,450</b>	<b>4,257,455</b>	<b>4,699,570</b>	
<b>支出の部</b>				
<b>【一般会計】</b>				
項目	予算	決算	予算	備考
事業費	3,001,000	2,412,265	3,470,000	
総会	(250,000)	(377,332)	(400,000)	
会報	(1,000,000)	(1,094,105)	(1,100,000)	
学生支援金	(600,000)	(44,000)	(600,000)	
支部運営費	(250,000)	(80,426)	(250,000)	
HP運営費	(170,000)	(170,390)	(170,000)	
部会活動費	(200,000)	(24,312)	(200,000)	
イベント管理システム運用	(181,000)	(293,700)	(400,000)	新規システム運用
卒業生記念品	(350,000)	(328,000)	(350,000)	同窓会名簿贈
会議費	400,000	0	400,000	総会・他団体派遣費
通信費	10,000	11,503	10,000	
事務費	50,000	63,833	50,000	
慶弔費	40,000	110,302	100,000	
周年記念事業積立金	50,000	50,000	50,000	
予備費	408,450	0	569,570	
次年度繰越金	0	1,609,552		
<b>合計</b>	<b>3,959,450</b>	<b>4,257,455</b>	<b>4,649,570</b>	
<b>【学生支援金】</b>				
項目	収入	支出	収入	支出
前年度繰越金	3,449,350		3,449,350	
一般会計より	600,000		600,000	
全国大会支援		44,000		200,000
専攻科生研究発表支援		0		200,000
国際交流支援		0		200,000
ロボコン全国大会支援		0		100,000
次年度繰越金		3,449,350		3,349,350
<b>合計</b>	<b>4,049,350</b>	<b>3,493,350</b>	<b>4,049,350</b>	<b>4,049,350</b>
<b>特別会計</b>				
項目	収入	支出	収入	支出
前年度繰越金	929,180		979,180	
一般会計より	50,000		50,000	
次年度繰越金		979,180		1,029,180
<b>合計</b>	<b>979,180</b>	<b>979,180</b>	<b>1,029,180</b>	<b>1,029,180</b>

番号	卒期	学科	お名前	番号	卒期	学科	お名前
1	1	M	北園 敏己	70	9	M	高木 辰治
2	1	M	古賀 和幸	71	9	M	永元 剛
3	1	M	坂本 雄郎	72	9	M	西村 直志
4	1	M	田川 俊一郎	73	9	M	日野 連海
5	1	M	立木 茂貴	74	9	M	山村 洋
6	1	M	富田 暁	75	9	E	御厨 隆
7	2	M	井川 隼人	76	9	C	高木 哲朗
8	2	M	坂本 広喜	77	9	C	長沼 美佐子
9	2	M	高尾 由一	78	10	M	中山 宏
10	2	M	中尾 充宏	79	10	M	平松 直人
11	2	M	山口 昇一	80	10	E	内田 敬一
12	2	M	山田 正見	81	10	E	於保 茂
13	2	E	牧野 民雄	82	10	E	田川 浩二
14	2	E	松尾 義幸	83	10	E	布江 秀文
15	2	E	渡辺 正信	84	10	E	浜田 義秀
16	3	M	石倉 昭政	85	10	E	吉川 和幸
17	3	M	大坪 寿	86	10	C	岩佐 順一
18	3	M	狩野 利根雄	87	10	C	広田 俊彦
19	3	M	里崎 隆司	88	10	C	水芦 秀夫
20	3	M	辻 政人	89	11	M	奥野 昌之
21	3	M	山崎 賢一	90	11	M	加椎 玲二
22	4	M	中尾 彰	91	11	M	島ノ江 政人
23	4	E	中島 健司	92	11	M	辻 昭範
24	5	M	西木戸 保	93	11	M	藤瀬 英二郎
25	5	M	林田 国松	94	11	E	千々岩 和彦
26	5	M	東島 育緒	95	11	C	岩村 和彦
27	5	M	松永 正勝	96	11	C	岡本 義廣
28	5	M	森 隆	97	12	M	山口 康春
29	5	M	力武 烈	98	12	C	小川 行雄
30	5	E	岩永 久徳	99	13	M	川淵 圭三
31	5	E	杉谷 良四郎	100	13	M	田中 誠一
32	5	E	松丸 義幸	101	13	E	稲森 真
33	5	C	大宅 倫明	102	13	E	久家 熊吉
34	5	C	北村 貢	103	13	E	中田 一成
35	5	C	小山 貞利	104	13	E	平川 一義
36	6	M	鹿島 規充	105	14	M	内田 澄広
37	6	M	古賀 茂弘	106	14	M	柿本 利徳
38	6	M	坂口 敏明	107	14	M	川崎 信幸
39	6	M	寺田 正保	108	14	M	狭間 大輔
40	6	M	松瀬 茂雄	109	14	M	松永 正人
41	6	M	宮田 保樹	110	14	M	吉川 忠博
42	6	E	中野 達一	111	14	E	梅崎 太造
43	6	C	陣内 実之	112	14	E	小林 茂典
44	6	C	田中 三郎	113	14	C	古谷 裕朗
45	6	C	鳥巢 新二	114	14	C	福田 明雄
46	7	M	伊東 博隆	115	14	C	山下 一興
47	7	M	桑本 伸博	116	15	M	光武 克之
48	7	M	瀬戸口 一秀	117	16	M	小熊 博行
49	7	M	鶴田 和壽	118	16	E	湯浅 信仁朗
50	7	M	徳淵 靖彦	119	17	M	百武 正人
51	7	M	前田 和夫	120	17	E	尾本 芳樹
52	7	M	力武 辰生	121	17	C	高島 裕正
53	7	E	戸井田 龍巳	122	18	M	中里 辰三
54	7	C	多比良 和誠	123	20	M	北口 功幸
55	7	C	野口 文信	124	20	E	宮崎 幸伸
56	7	C	馬場 九洲夫	125	20	C	山下 正司
57	8	M	河原 欣也	126	21	M	武村 浩道
58	8	M	辻 靖之	127	23	C	戸来 亮子
59	8	M	吉永 恭二	128	24	M	松尾 輝幸
60	8	E	小野 謙治	129	24	C	三岳 裕文
61	8	E	川下 智恵	130	25	M	江頭 俊雄
62	8	E	河野 正秀	131	25	E	宮崎 隆
63	8	E	富村 和生	132	25	C	池田 隆志
64	8	E	豊永 完治	133	27	S	幸田 道友
65	8	E	森田 仁	134	28	M	有川 哲郎
66	9	M	金子 俊彦	135	28	S	シバスタラン スハルナン
67	9	M	川尻 純生	136	31	M	三根 貴史
68	9	M	小森 豊明	137	34	S	横尾 沙緒里
69	9	M	平 稔	138	55	M	内村 元紀

## 【支部報告】

長崎支部の活動状況 2022年2月25日

長崎支部 支部長 椿崎 仙市 (15C)

長崎支部長の15C椿崎です。長崎支部は、幹事：8M高原さん、20M北口さん、23M田嶋さん、30M黒田さんを含め5名で活動しております。

長崎支部では、2014年より年1回、支部会（懇親会）を開催しており、第1回からロボコンプロジェクトへの支援として、支部懇談会の中で募金を実施しております。第4回（2017年）には、ロボコンプロジェクトの部員5名に支部会に参加いただき、素晴らしいプレゼンテーションを実施いただきました。

また、第6回（2019年）には、佐世保支部のメンバーで構成された「シブバンド」による歌と演奏など、趣向を凝らした内容で実施させていただきました。

2020年は、第7回の支部会を計画しておりましたが、コロナ感染拡大防止のため会員の所属する会社から飲食を伴う会合の自粛（中止）の方針が示され、残念ながら開催直前に中止とさせていただきます。

2021年は、感染の終息を期待して9月に第7回支部会開催で準備を進めてきましたが、会員所属企業で『会合自粛継続』となったため、1月29日（土）に延期し、飲食を伴わない情報交換形式の支部会に変更し、中島校長へ出席をお願いして準備を進めてきました。

しかし、昨今のオミクロン株感染拡大により、1月21日（金）より長崎県（長崎市、佐世保市）がまん延防止等重点措置の適用範囲となったことを受け、長崎支部役員にて慎重な協議を行いました結果、大変不本意ではありますが、今年度の支部会は中止とせざるを得ないとの結論に達しました。

長崎支部会は、例年、広く各年代の方へ出席いただいております。特に若手の方は、自分の50年後までの姿を予想する機会となっています。仕事や卒業後の生活は

もとより、寮での生活、部活動や指導いただいた先生方の思い出話に花が咲き、2次会以降も盛り上がっています。

今年（2022年）も9月に支部会（ゴルフ、懇親会）を計画しています。

長崎支部では同窓会の効率的な運用を目指し、「イベント管理システム」でのご案内を活用しております。今年もご案内と出欠確認については、本「イベント管理システム」を使用いたしますので、皆様の参加をお待ちしております。なお、未登録の方は下記URLにて登録いただけますようお願いいたします。

佐世保高専同窓会 イベント管理システム

<https://ssl.broad-kids.jp/mailexsystem/F0001.php>

## 「福岡支部だより」

福岡支部長 福田 昭彦 (13M)

皆様お元気ですか。私は福岡支部長の福田昭彦と申します。四年前に富田暁前支部長から支部長を引き継がせて頂きました。

富田前支部長は福岡支部が正式に設立される以前から半世紀近くもの間、福岡の地で任意の佐世保高専同窓会の灯を灯し続けてこられました。富田前支部長のその愛校心には只々脱帽するばかりです。

私が富田前支部長から支部を引き継がせて頂いて以来、私の使命はこの福岡の地において佐世保高専の伝統の灯を守り続けていくことだと思っています。そのため毎年秋頃に博多駅近辺のホテルにて「福岡支部の集い」を開催しています。毎回六十名程の同窓生の皆さんに集って頂いています。宴の間には皆さんの学生時代の思い出話をスピーチして頂き、それをお聞きすることが最も楽しいひと時です。当時の授業の様子や部活のこと、また寮生活等たくさんのエピソードを披露して頂きます。そんなお話をお伺いしていると会場内は笑いや涙



## 宮本電機株式会社

代表取締役 宮本 憲 電気工学科 1期卒業

本社：〒859-3153 長崎県佐世保市三川内新町8番地9

TEL：0956-20-3103 FAX：0956-20-3104

URL：<http://miyamoto-dennki.co.jp/>

宮本電機は時代のニーズに応じて、幅広い分野での自動化を総合制御システムメーカーとして支えてきました。家電や自動車などの製造ラインから始まり、プラントさらに農業・漁業等の一次産業、エネルギー・環境分野の制御システムの構築へと広がっています。

関連会社

テムコン(株)・ロボットテクノス(株)・宮本商貿有限公司



弊社ホームページへ

で溢れ、それぞれの青春時代が走馬灯のように蘇ってくる一瞬です。同級生との再会はもちろん、思いがけない先輩や後輩との再会も楽しいものです。また、二期生であり元校長先生の中尾充宏先生も毎回参加して頂いております。同窓生として、元校長先生として会を見守って頂いております。私が支部長に就任してから四年間の内、二回はこの「福岡支部の集い」を開催できたのですが、二年前からの新型コロナ禍の影響で二年続けて開催を見送らざるを得ない状況に追い込まれてしまいました。今年こそは何としてでも再開したいと福岡支部役員一同、気合を入れています。余談ですが、福岡支部の役員同士は仲が良く、この新型コロナ禍の中でもなんとか集まり、ゴルフや飲み会を重ねています。福岡在住の同窓生の皆さん、福岡支部の活動に参加されませんか。楽しい仲間がお待ちしていますよ。

## 【一般投稿】

### 信頼性への想い

島川 邦幸 (5E)

佐世保高専を卒業して51年、再雇用も終わり退職後7年になります。

現在は依頼ベースで信頼性の全体像や基本的な要素、手法の普及に努めています。信頼性は品質の要素の一つで時間的品質とも言われ、製品が期待される期間、故障せずに使えるかどうかという問題を扱います。ここでは私がなぜ信頼性に関心を持つようになったのかを紹介したいと思います。

小中学生のころは、だれが計算しても答えは一つという数学が私にとってとても魅力的でした。そして高専時代には定理や公式の証明ができたときに満足感を味わい、会社時代初期には、ファクシミリ用の周波数フィルター設計時、行列式を使った周波数特性の理論値と実験結果がぴったり一致したことに深く感動しました。

設計時代、上司の勧めで日科技連の「信頼性セミナー専門コース」を受講することになりましたが、様々な難しい数式が出てきて追い付いていけませんでした。確率・統計の知識不足です。基本ができていないので何故そういう式になるのかが理解できなかったのです。ちよ

うどその頃、担当していた商品の開発が中止となり設計部隊解散、仲間がバラバラになってしまいます。私は会社の国内留学制度を利用し大学で統計を勉強しなおすことにしました。4年後、復職先に品質保証部を選ぶことにしたのですが、当時、品質保証部にこれから30年も所属するとは思っていませんでした。

品質保証部では、製品試験から品質戦略の立案・推進まで一通りの品質保証業務を経験しますが、なかでも信頼性試験結果と市場実績の差異分析による試験法・評価法の改善と、経営課題のひとつとして信頼性改善の推進が印象深く、いずれも信頼性にかかわる業務でした。さらに、昨今は様々な業界で部品の共通化やシステムの巨大化が進み、ひとつの故障や人のミスが大規模リコールや大きな事故に繋がるという時代であり、信頼性はますます重要になっていると考えています。

信頼性は当たり前品質と言われますが、製品の開発段階はまさに信頼性と格闘しているといっても過言ではありません。信頼性は時間が経たないと本当の良悪がわからないため、各社とも開発段階に製品の故障や寿命を予測、推定しながら信頼性を作りこんでいます。相田みつをさんの詩に「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだなあ」というのがあります。市場でしっかり花（商品）を咲かせるためには表舞台に出てこない根（信頼性）の部分を育てていかなければなりません。

品質保証部時代、日科技連の信頼性シンポジウムなどに顔を出していたのですが、その日科技連からの帰りの電車が同じになる、ほぼ同じ年代の有志が集まり、自主的に研究会を開くことになります。様々な会社で信頼性に関心を持つ人達や大学の先生が組織の枠を超えて信頼性に関する悩みや課題を持ち寄り、意見を出し合いました。この研究会のメンバーの多くが後に日科技連の信頼性セミナー基礎コースのテキスト作成や講師を担当することになります。この研究会は'80年代から'90年代にかけて毎月一回土曜日集合、約10年間続きました。この間、他社の事例や自社の信頼性データ解析の理論的裏付けを習得することにより信頼性工学の基礎知識が身についたと思います。

以上の振り返りから、私の場合以下の2点が信頼性に